

※オーバルニットルームの使い方は、商品付属の説明書をご覧ください。

【おひなさま・おだいらさま】

<材料>

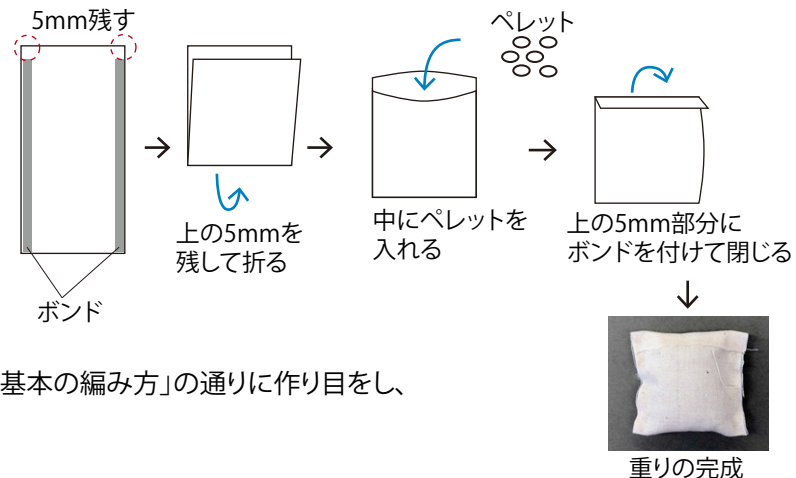
並太毛糸 白 約12g
黒 約3g
ペレット 約14g
手芸用綿 約4g
目玉パーツ(6mm) 4個
生地(※重り用)
10cm×5cm 2枚
ちりめん生地(レーヨン)
赤系 6cm×24cm
青系 4.5cm×21cm

フェルト 濃いピンク 1cm×2cm
青 1cm×19cm
黄色 4cm×20cm
ピンク 1.5cm×2.5cm
茶色 1cm×2.5cm
座金パーツ(14mm)
ゴールド 1個
パールビーズ(4mm) 1個
1分竹ビーズ シルバー 15個
手縫い糸



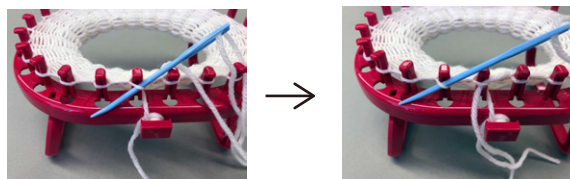
<おひなさま・作り方>

- ①編み地の中に入れる重りを作ります。
図のように生地(10cm×5cm)の両端に
ボンドを付けて折り、袋状にします。
ペレットを入れ、入れ口にボンドを付けて閉じます。



- ②オーバルニットルームの商品付属の使い方説明書「基本の編み方」の通りに作り目をし、
表編みを15段編みます。

- ③糸端を約60cm残してカットし、とじ針を使ってオーバルニットルームにかかっている編み目に1目ずつ通します。



<使用道具>

57-967

オーバルニットルーム
[https://clover.co.jp/
products/57967](https://clover.co.jp/products/57967)



- 36-666 カットワークはさみ115
- 55-008 とじ針No.18
- 24-416 水性チャコペン<紫・細>
- 25-053 方眼定規<30cm>
- 31-301 へら
- 57-655 コロコロオープナー
- 58-431 クロバーボンド<多用途・速乾>
- 18-038 めい針「絆」薄地用 短針8

- ④全ての編み目に糸を通したら編み地をオーバルニットルームから外し、糸端をしっかり引いて絞ります。糸端を編み地の裏側に出し、引き締めた部分がゆるまないように数回編み地に通して始末します。



編み地をオーバルニットルームから外したら縦方向に少し引っ張って形を整える。



糸をしっかり引いて絞る。

- ⑤編み始めの糸端をとじ針に通し、作り目の目に一周通します。



糸が交差している箇所の下(★)に針を入れていき、一周する。



一周し、糸を軽く引いたところ。

- ⑥⑤に手芸用綿を入れ、さらに①の重りを入れます。重りが人形の底になるので、平らになるように入れてください。糸端をしっかり引いて絞り、ゆるまないように数回編み地に通して糸を始末します。



手芸用綿を入れる。



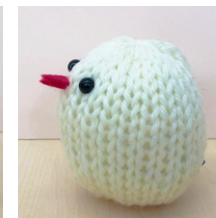
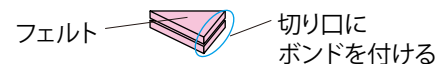
①の重りを平らに入れる。



糸を引いて絞る。

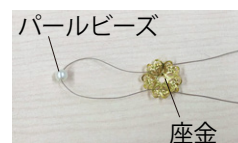
- ⑦とじ針(No.18)に毛糸(約30cm)を通し、目玉パーツを縫い付けます。糸端に大きめの玉結びを作り、とじ針を後ろ側の編み目から糸を割らないように入れ、玉結びを編み地の中に隠します。最後はとじ針を後ろ側に出し、玉どめします。玉どめは編み地の中に隠します。

- ⑧実物大型紙を使ってフェルト(濃いピンク)をくちばしの形にカットし(2枚)、2枚重ねた状態で本体にボンドで貼ります。



- ⑨冠を作ります。

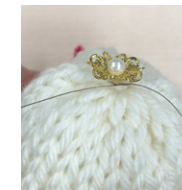
手縫い糸(約30cm)をパールビーズに通します。通しにくい場合はぬい針を使います。画像のように、糸端をそれぞれ座金パーツの穴に通し、本体の一番上付近の編み目に通して結びます。糸端は3mm程度残してカットします。



手縫い糸にパールビーズと座金を通す



編み目に糸端を通す



糸端を結ぶ

- ⑩着物を作ります。

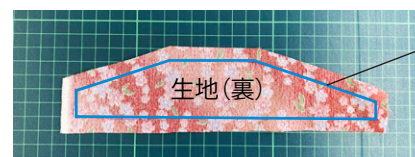
ちりめん生地(裏側に実物大型紙を置いて出来上がり線にしるしを付け、のりしろ1cm付けてカットします。

- ⑪生地を折りやすくするために、出来上がり線に定規をあて、へらでなぞります。

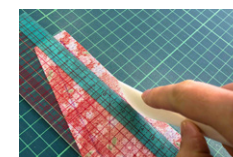
- ⑫のりしろを生地の裏側に折ります。

コロコロオープナーを使うとしっかり折ることができます。

- ⑬のりしろにボンドを付けて貼ります。



出来上がり線にのりしろ1cm付けてカット



へらで出来上がり線をなぞる



のりしろを裏側に折る

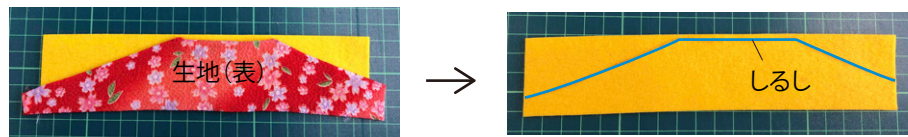


ボンドで貼る

クロバー株式会社

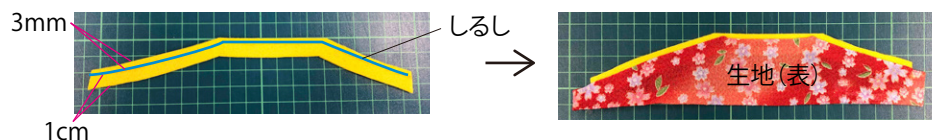
オーバルニットルームで作る 小鳥のひな人形 5-2

- ⑭黄色いフェルト(4cm×20cm)の上に⑬を置き、輪郭をなぞってフェルトにしるしを付けます。フェルトの上に⑬を置くときは、上部分からフェルトが3mmほど出るようにします。

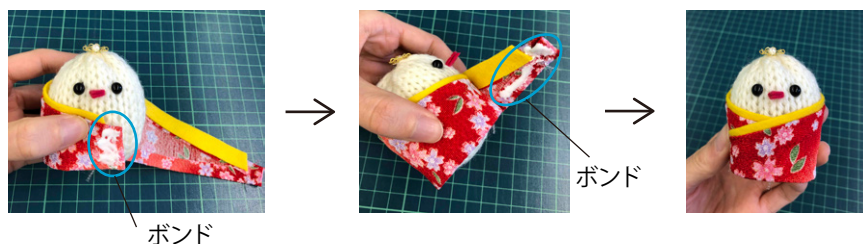


- ⑮⑭で付けたしるしから、上側に約3mm、下側に約1cm残してフェルトをカットします。

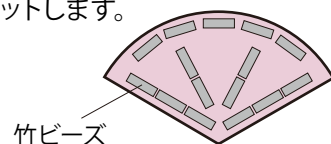
- ⑯⑮の下側1cmにボンドを付けて、しるしに合わせて⑬を貼ります。



- ⑰本体に⑯を巻いて、ボンドで貼ります。



- ⑱実物大型紙を使ってピンクのフェルトを扇の形にカットします。右図のように竹ビーズを手縫い糸で縫い付けます。



- ⑲⑱をボンドで貼って完成です。

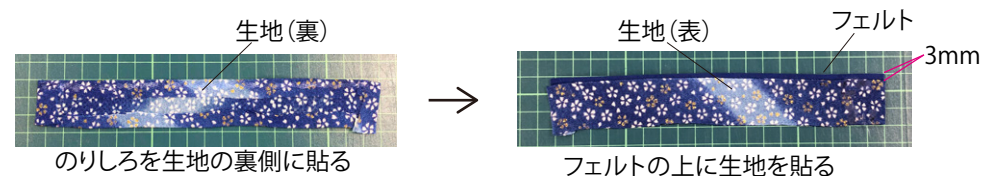


＜おだいりさま・作り方＞

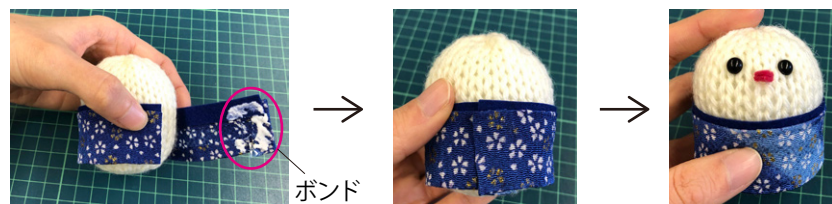
- ①本体を、おひなさまの①～⑧と同様に作ります。

- ②着物を作ります。おひなさまの作り方⑩～⑬を参考に実物大型紙を使って生地のにりしろを付けてカットし、のにりしろを生地の裏側に折ってボンドで貼ります。

- ③青いフェルト(1cm×19cm)の下半分にボンドを付け、その上から②をフェルトの上部からが約3mm出るようにボンドで貼ります。

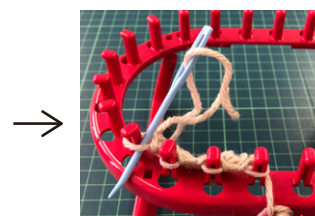
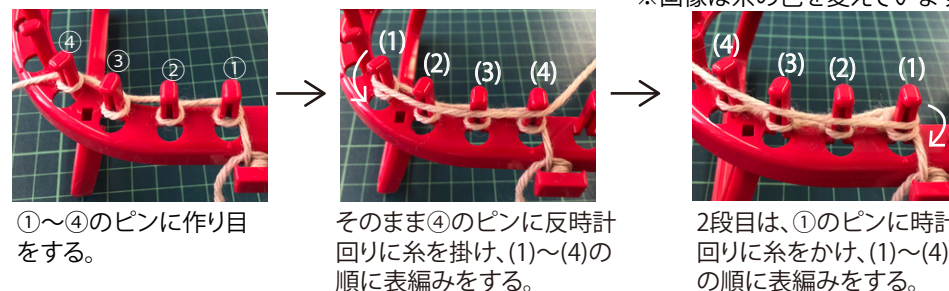


- ④本体に③を巻いて、ボンドで貼ります。
ボンドで貼り合わせる部分が本体の後ろに来るようにします。



- ⑤黒い毛糸で烏帽子を作ります。オーバルニットルームで4目の平編みを10段編みます。

※画像は糸の色を変えています。

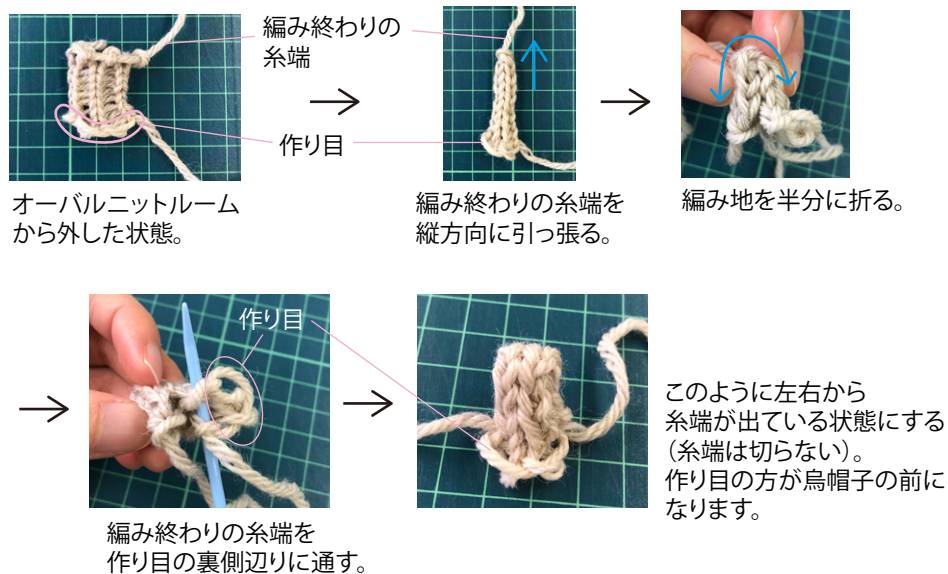


同じように往復して10段編み、糸端を約20cm残してカットし、オーバルニットルームにかかっている編み目に1目ずつ通す。

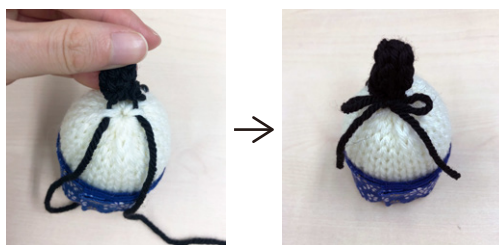
クローバー株式会社

オーバルニットルームで作る 小鳥のひな人形 5-3

⑥編み地をオーバルニットルームから外し、半分に折って糸端で固定します。



⑦⑥の糸端を本体の編み目に通してリボン結びし、余分な糸端はカットします。



⑧実物大型紙を使って茶色のフェルトをしゃくの形にカットし、ボンドで貼って完成です。



【三人官女】

＜材料＞

並太毛糸 白 約15g
ペレット 約21g
手芸用綿 約3g
目玉パーツ(6mm) 6個
生地(※重り用) 10cm×5cm 3枚
ちりめん生地(レーヨン)
ピンク系 4cm×20cm
フェルト 濃いピンク 1cm×3cm
黄色 1cm×18cm 3枚
花の形のспанコール ピンク 3枚
丸小ビーズ シルバー 3個
手縫い糸



前

後ろ

＜作り方＞

- ①本体は、おひなさまの①～⑧と同様に、オーバルニットルームで編む段数を12段に変えて作ります。
- ②着物を作ります。おひなさまの作り方⑩～⑬を参考に実物大型紙を使って生地のにりしろを付けてカットし、のにりしろを生地の裏側に折ってボンドで貼ります。
- ③おだいりさまの作り方③、④を参考に、黄色いフェルト(1cm×18cm)の上に②を貼り、本体に巻いてボンドでとめます。



④髪飾りを作ります。

手縫い糸(約30cm)を右の画像のように丸小ビーズと花の形のспанコールに通します。
おひなさまの作り方⑨と同様に、本体のお好みの位置の編み目に通して結びます。
糸端を3mm程度残してカットして完成です。

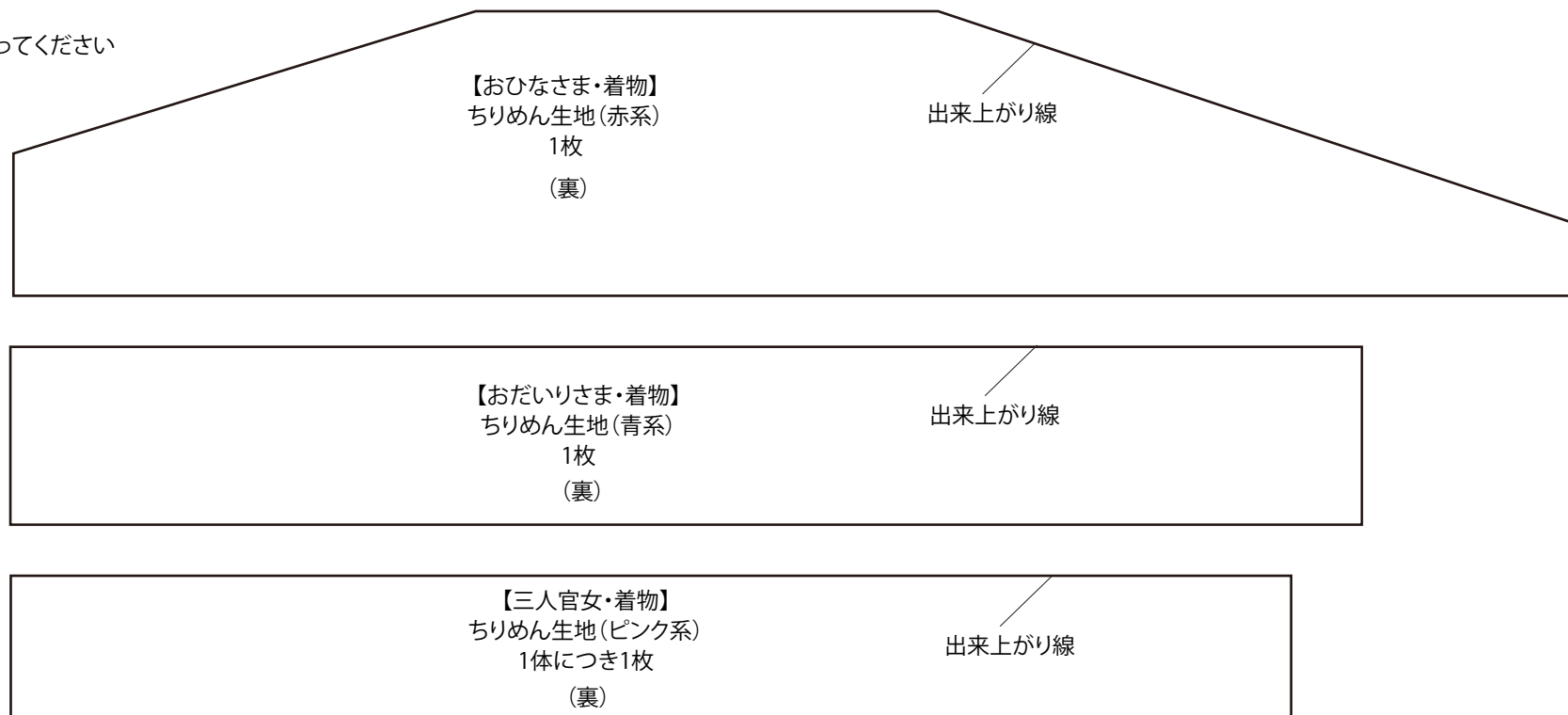


クロバー株式会社

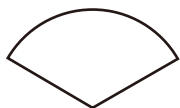
オーバルニットルームで作る 小鳥のひな人形 5-4

<実物大型紙>

※着物は全てのりしろ1cm付けて裁ってください



【おひなさま・扇】
フェルト(ピンク)
1枚



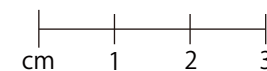
【おだいりさま・しゃく】
フェルト(茶色)
1枚



【おひなさま、おだいりさま・くちばし】
フェルト(濃いピンク)
1体につき2枚



【三人官女・くちばし】
フェルト(濃いピンク)
1体につき2枚



クローバー株式会社

オーバルニットルームで作る 小鳥のひな人形 5-5